

2次マスターコース(土日通学)

中山さん

【はじめに】

第2次試験合格証書が手元に届いたのを見て、やっと実感が湧いてきました。

筆記試験の当日、会場である渋谷のフォーラム8近くで中居先生と川橋先生にお会いし激励を受けたものの、試験後、感触が思わしくなかった私は、朝方とほぼ同じに場所で受講生と思われる方と試験問題を覗めっこしている先生方を避けるように人混みに紛れ、逃げるように帰りました。その為、筆記試験の合格発表時は、自信の無さから当日の深夜まで診断協会のサイトを見ることができなかったのですが、自分の番号を見つけた時は何とも言えない感動でした。

このような立場ですが、少しでもご参考なればと僭越ながら体験記を寄稿いたします。

【中小企業診断士を受験した動機】

私は某電機メーカーで某官庁向け営業職を担当しております。弊社は社内カンパニー制を取っており、カンパニー間の異動がほぼ無く、官僚的で効率的な業務マニュアルがあります。そんな世界に身を置いており、ふと考えた事がありました。「会社を飛び出したとき自分ができることはなにか?」、また「会社が変わった時に自分は通用するのか?」等々。

その為、社会人、ビジネスマンとしての底上げを図るためにスキルアップしなければマズイと思っている中、某大手資格学校のパンフレットを通してこの資格の存在を知りました。診断士試験で求められる幅広い知識、論述、コミュニケーション能力は、今後の自分の成長の糧になるだろう、そんな思いで勉強を開始しました。

【受験年度】

2011年 一次試験 合格

二次筆記試験 不合格(AACD=C) ※2011年までは某大手資格学校

2012年 二次筆記試験、口述試験 合格 ※2012年からMMC2次対策マスターコース

【一年目の学習】

大手資格学校の通学コースを受講しました。一次試験から財務会計の苦手意識が払拭できず、時間を掛けた割には飛躍的な伸びは望めませんでした。他の科目でリカバーし一次試験を通過しました。

その後も引き続き大手資格学校の二次対策に身を置いたのですが、何をどう手をつけたかさっぱり分からない状態。何が分からないのかもわからない中、試験を迎え、一縷の期待も持つことなく撃沈。そういえば、初年度の筆記試験の結果は何の躊躇いもなく協会のサイトを見ていたと記憶しております。

【予備校の選択】

不合格通知を受け取った後、複数の二次対策専門の予備校の講座紹介に出席し、自分に合いそうなところを見つけました。重要視した点は以下の点です。

- 寺子屋的にみっちりと指導してくれるところ
- カリキュラム(スケジュール)の充実度
- 講師陣の雰囲気
- 合格率

これにマッチしていると感じたのがMMCでした。何度でも再答案を受け付けてくれること、答練の回数、財務が苦手な私にとっては答練後の財務計算問題練習(今思うと辛かった…)、講師の熱意等々がMMCに決めたポイントです。

【二年目の学習】

MMCのカリキュラムに則って学習を進めていき、朝と夜に時間を見つけ継続的に学習するように心がけました。

おおよその学習スタイルは以下のとおりです。

平日朝:財務計算問題(MMC問題集、答練や模試の問題、過去問)を約1時間程度

平日夜:答練や模試の再答案作成

土日 :MMCへ通学、復習

MMCでの10ヶ月間で刷り込まれたことは、講義やアドバイス時に繰り返し言われた「つまり何なのか?」でした。MMCでは、「つまり」を表現する「キーワード(～等の〇〇)」を予め準備すること、また「型を持つ」事を教え込まれました。更に、解答の「切り口(～面で)」を持つことで採点者にとって分かり易い・読み易い解答にする事も注意された点です。

私自身の講師陣の仰っていることへの理解不足やキーワード纏めの遅れがあり、ようやく5月の連休後(Step3に入ってから)に「キーワード」や「切り口」を徐々にではあるものの使えるようになり、答練の点数が安定してきました。3~4月位までにはキーワードの纏めを行っておくのがお勧めです。

次のステップは、そのキーワードを答練で使えるようにする事です。効果的だったのはMMCの模範解答の熟読・音読です。MMCの模範解答をとおして、キーワードや切り口の使い方を整理していきました。また、解答から設問を類推することで題意を捉える練習も行いました。自分が書いた答案を読み直して、果たして設問が類推できるか?も行うことで、「問われた事に解答する」「題意を外さない」という事への良い訓練となりました。

「解決策のキーワードのまとめ」と「MMC模範解答」を常に持ち歩き移動時間に眺める事を継続したおかげで頭に定着しました。

【模試について】

私はMMCの模試以外に某大手資格学校や診断士二次専門校の模試も受けました。よく言われることですが、模試の結果に一喜一憂することなく、①時間配分の訓練、②場馴れ(80分×4事例の疲労感や多数の受験生の

中での答案作成等)の場と思い取り組みました。私は、直前期の某大手資格学校の模試の結果は散々な評価(D判定)である一方、診断士二次専門校の結果は上位に入る等、バラツキました。

それでもこうして合格しています。模試の結果は参考程度に受け止めて、使えなかったキーワードや切り口、計算間違い等の復習に努めたほうが効果的です。

【最後に】

MMCでの教えをとにかく信じて学習した結果、無事に合格できました。この場を借りて、改めてMMC講師の皆様に御礼を申し上げたいと思います。出来の悪い受講生だったかと思いますが、何とか実力を引き上げて頂けたなあとつくづく感じております。MMC講師の皆様の、スピーディで熱意と親身な指導を振り返り、やはり診断士二次対策は寺子屋式、少人数制がいいですね。平成24年度試験は事例Ⅳの傾向が変わり、事例Ⅲも小見出しの復活などがありました。が、「試験当日はMMCで学んだことを、そっと答案に置いてくる程度でいい」というMMC講師陣のアドバイスのおかげで慌てず取り組めたことを覚えております。

今後もこの結果に甘んじることなく精進してまいりたいと思います。稚拙な文章にお付き合いいただき誠にありがとうございました。